

日本庭園学会ニュース

The Academic Society of Japanese Garden News

NO. 108

令和4年(2022年)

令和4年度日本庭園学会
全国大会開催案内

発行 日本庭園学会(会長 大澤 伸啓)
〒156-8502 東京都世田谷区桜丘 1-1-1
東京農業大学 地域環境科学部
造園科学科 庭園技法材料学研究室
TEI(03)-5477-2428(栗野 隆理事)

令和4年度日本庭園学会 全国大会開催案内

令和4年度の全国大会ならびに総会は、福井県福井市にて開催します。公開シンポジウムは、「庭園の保存と活用～日本庭園・学のこれまでとこれから～」をテーマに開催します。参加方法は、現地参加とリモート参加のいずれかを選択いただきます。ただし、現地参加に関しては新型コロナウイルス感染症対策の一環として、定員制(先着45名)になっておりますのでご注意ください。

また、リモート参加をご希望の方は、勝手ながら事前にWeb会議システム(以下、Zoom)を利用できる、パソコン等の環境を整えてくださいますようお願いいたします。皆様のご参加をお待ちしております。

記

◆日程

令和4年6月18日(土)～19日(日)

◆内容

現地検討会、研究発表会、総会、学会授賞式、U30論文受賞結果発表、公開シンポジウム

◆プログラム

令和4年6月18日(土)

- 9:30 受付/貸切送迎バス発車
(福井駅東口から名勝養浩館庭園駐車場へ)
- 9:35～10:20 現地検討会①(名勝養浩館庭園)
- 10:20～10:45 貸切送迎バス移動(名勝養浩館庭園駐車場から福井県立図書館へ)
- 10:45～ 受付開始(福井県立図書館多目的ホール前)
- 11:00～ Zoomの開放
- 11:15～11:20 開会挨拶
- 11:20～11:40 1.『和漢三才図会』所収「家宅類」にみる江戸時代における庭の見方
今江秀史(京都市元離宮二条城事務所)
- 11:40～12:00 2. 英語文献による日本庭園

史の研究: エリザ・シドモア(Eliza R.Scidmore)の“The Famous Gardens of Kioto”(京都の名園)を中心に
マイケル・シャピロ(植彌加藤造園株式会社 知財企画部)

- 12:00～13:20 昼食休憩/理事会
- 13:20～ Zoomの開放
- 13:30～15:00 総会/学会授賞式・U30論文受賞結果発表
- 15:00～15:20 3. 城下町の水路網と庭園群に関する説明板の配置と内容
佐々木邦博(信州大学)
- 15:20～15:40 4. 高崎市徳明園・洞窟観音の再評価
大澤伸啓(立正大学)
- 15:40～15:50 休憩
- 15:50～16:10 5. 「にいがた庭園街道」への期待 詳細続編
森 泰規(株式会社博報堂ブランド・イノベーションデザイン局)
- 16:10～16:30 6. フランス最古の日本庭園「緑の里」の現況について

- 鈴木 誠 (東京農業大学グリーンアカデミー)
遠藤浩子 (ペイサージュ・ヌーボー)
- 16:30 ~ 16:50 7. 欧州日本庭園ネットワーク設立と今後の動向
水真洋子 (ヴェルサイユ国立高等造園学校附属研究所 (LAREP))
鈴木 誠 (東京農業大学グリーンアカデミー)
- 17:00 貸切送迎バス発車
(福井県立図書館から福井駅東口へ。解散。)

令和4年6月19日 (日)

- 8:30 貸切送迎バス発車
(福井駅東口から一乗谷朝倉氏遺跡へ)
- 9:00 ~ 12:00 現地検討会② (福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館 (一部) / 特別名勝一乗谷朝倉氏庭園)
- 12:00 ~ 13:00 福井県立図書館下車 / 昼食休憩
- 13:00 貸切送迎バス発車
(福井駅東口から福井県立図書館へ)
- 13:00 ~ シンポジウム受付開始
(福井県立図書館多目的ホール前)
- 13:20 ~ Zoom の開放
- 13:30 ~ 17:00 公開シンポジウム
- 17:00 閉会挨拶
- 17:15 貸切送迎バス発車
(福井県立図書館から福井駅東口へ。解散。)

※現地検討会は現地参加者のみとします。

※研究発表は発表 15 分、質疑 5 分です。

◆大会参加の申込み

参加は現地参加またはリモート参加のいずれかを選択いただけます。リモート参加の方は Zoom が利用できるパソコン等の環境を整えていただきますよう、お願いします。なお、現地検討会は現地参加者のみを対象とさせていただきます。また、現地参加に関しては新型コロナウイルス感染症対策の一環として、定員制 (先着 45 名) としますので、大会参加の申込みは

事前にメールまたは郵送 (ハガキ等)、FAX のいずれかの方法で下記までお願いします。

お申込みの際には、①氏名、②会員・非会員の別、③参加プログラム、④現地参加とリモート参加の別 (リモート参加の方で資料集の後日郵送を希望される場合は、住所も記載ください)、⑤当日に連絡可能な携帯電話番号を明記ください。(下記参照)

申込み期限：令和4年6月3 (金) 必着

申込記入例
(最終ページに記入シートがあります。ご活用ください。)

あなたの氏名・連絡先について		
氏名		
メールアドレス		
携帯電話番号		
電話番号		
参加内容について		
参加区分 いずれか一つ該当するものに✓を記入	<input type="checkbox"/> 会員・一般 参加費 2,000 円	<input type="checkbox"/> 会員・学生 参加費 500 円
	<input type="checkbox"/> 非会員・一般 参加費 4,000 円	<input type="checkbox"/> 非会員・学生 参加費 1,000 円
参加プログラム 現地参加・リモート参加いずれか該当する方の参加するもの全てに✓を記入	現地参加	
	6月18日(土)	
	<input type="checkbox"/> 現地検討会①(名勝養浩館庭園)	
	<input type="checkbox"/> 研究発表*午前・午後とも	
	<input type="checkbox"/> 総会	
	<input type="checkbox"/> 学会賞授賞式及び U30 論文受賞結果発表	
6月19日(日)		
<input type="checkbox"/> 現地検討会② (特別名勝一乗谷朝倉氏庭園ほか)		
<input type="checkbox"/> シンポジウム		
リモート参加		
6月18日(土)		
<input type="checkbox"/> 研究発表*午前・午後とも		
<input type="checkbox"/> 総会		
<input type="checkbox"/> 学会賞授賞式及び U30 論文受賞結果発表		
6月19日(日)		
<input type="checkbox"/> シンポジウム		
資料郵送について		
リモート参加の場合のみ、以下についても記入ください。なお、資料代(送料込み)は参加費に含まれます。公開シンポジウムにのみ参加の場合は、別途 1,000 円を申し受けます。		
<input type="checkbox"/> 郵送希望 <input type="checkbox"/> 不要		
郵送先住所 (省略せず正確に記入)		
〒		

申込み送付先

〒910-2152

福井県福井市安波賀町4-10

福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館気付

令和4年度日本庭園学会全国大会事務局

(担当者: 藤田若菜)

FAX: 0776-41-2494

メール: w.fujinohana@gmail.com

◆参加費

学会員 2,000円 (学生は500円)

非会員 4,000円 (学生は1,000円)

※上記金額に資料代、現地検討会費用を含みます。

※現地参加の方は当日お支払いください。

※参加費は、1日のみの参加でも上記金額を徴収します。御了承ください。

※公開シンポジウムのみ参加は無料です(シンポジウムのみのご参加で資料を希望される場合は、(会場にて)1,000円/冊で配付します)。

※リモート参加の方は以下の振込先に令和4年6月10日(金)までに参加費をお振込みください。参加費を入金いただいた方には、ご指定のメールアドレスに参加方法および、資料集のデータ版(PDF形式)を閲覧するためのパスワードをお知らせします。

<リモート参加費振込先(郵便振替)>

・加入者名: 日本庭園学会

・口座番号: 00140-3-659842

◆宿泊先のご案内

福井駅付近の主要なホテルは、以下の通りです。ご予約はお早めに会員各位にてお願いします。ホテルルートイン福井駅前/東横INN福井駅前/福井マンテンホテル駅前/ホテルフジタ福井/天然温泉羽二重の湯ドゥーミーイン福井など

◆飲食のご案内

例年実施しておりました情報交換会は、新型コロナウイルス感染症対策の一環として中止とさせていただきます。

【福井駅周辺】

福井駅付近で郷土食を食べられる主要な飲食店は次の通りです。宜しければご利用ください。

やきとりの名門 秋吉 福井駅前店/味の王様/ろばた焼 弥吉 駅前店/福福茶屋(ハピリン2F)/八兆屋駅の蔵 福井駅など

【福井県立図書館周辺】

福井県立図書館周辺で昼食の飲食が可能な店は以下の通りです。宜しければご利用ください。カフェテリアあすわの木(図書館内)/つるきそば板垣店(徒歩15分)/MERCER TERRACE(徒歩10分)など

研究発表会 概要

1. 『和漢三才図会』所収「家宅類」にみる江戸時代における庭の見方

今江秀史(京都市元離宮二条城事務所)

庭の歴史を研究する上では、対象となる時代の語彙を意識することが求められる。それは、語彙が時代により変化するものであり、各時代の思考のあり方を反映するからである。江戸時代の挿絵が入った百科事典である寺島良安撰『和漢三才図会』は、全105巻81冊からなり、その中の「家宅類」では庭について言及されている。本研究は、『和漢三才図会』に掲載された住まいに

関する語彙の分析を中心として、江戸中期の世間一般における庭の見方を浮き彫りとするものである。

2. 英語文献による日本庭園史の研究: エリザ・シドモア(Eliza R. Scidmore)の“The Famous Gardens of Kyoto”(京都の名園)を中心に
マイケル・シャピロ

(植彌加藤造園株式会社 知財企画部)

本発表は、米国人女性ライターエリザ・シドモアが明治45年に発表した“The Famous

Gardens of Kioto”に着目しつつ、英語文献を通して日本庭園史を研究する可能性を模索するものである。シドモアはこの記事で京都の歴史的な名園だけではなく、無鄰菴や對龍山荘などの近代庭園と、明治末期の京都に起こった庭園ブームも西洋に紹介している。この記事の掲載先となった「ザ・センチュリー」という雑誌の編集長とシドモアが交わした手紙をこの記事の内容と照らし合わせて、当時の外国人がどのように日本庭園を理解していたのかという点に焦点を当てたい。

3. 城下町の水路網と庭園群に関する説明板の配置と内容

佐々木邦博 (信州大学)

全国に残る城下町では、古くからの水路網や庭園群が失われつつある。それらの存在と価値を住民や観光客にアピールする方法の一つに、道路などに設置される説明板がある。そこで、調査対象地として長野市松代町、群馬県甘楽郡甘楽町小幡、福岡県朝倉市秋月など5カ所の城下町とし、説明板のデザインや配置、及び説明内容を探り、その課題を明らかにする。

4. 高崎市徳明園・洞窟観音の再評価

大澤伸啓 (立正大学)

群馬県高崎市街地南西の観音山中腹にある徳明園及び観音洞窟は、山田徳蔵が建設した私設公園である。新潟県柏崎出身の徳蔵は、大正8年(1919)に洞窟観音の建設を開始。約50年間工事を続けたが、未完成に終わった。徳明園は、トンネル掘削によって発生した土砂を谷地に埋め、その上に石を配置した園池を造り日本庭園に整備したものである。現在、山徳記念館として公開されている。本発表は、この徳明園と洞窟観音を再評価するものである。

5. 「にいがた庭園街道」への期待 詳細続編

森 泰規

(株式会社博報堂ブランド・イノベーションデザイン局)

前回の関西大会で概要を報告した「にいがた庭園街道」への期待について各国の生活者におこなった意識調査について、より詳細な結果の提供を受けたので続編を公開する。「にいがた庭園街道」への期待と「日本に来てやりたいこと」との関係性を多変量解析によって検討しなおし、また意識傾向ごとのグループ分類についても紹介する。

6. フランス最古の日本庭園「緑の里」の現況について

鈴木 誠 (東京農業大学グリーンアカデミー)

遠藤浩子 (ペイサージュ・ヌーボー)

1890年代半ばに、親日家フランス人ウーグ・クラフトがロージュ・アン・ジョサスに完成させた邸宅庭園「緑の里」の日本庭園は、1889年パリ万博出展の日本の家屋と庭園の制作に関わった庭師・畑和助が作庭した。これまで、この庭の大部分は滅失していると思われていたが、2022年4月の現地確認にて、敷地全体は3分割されてそれぞれ個人住宅になり、その一区画に「緑の里」主要庭園部分の遺存が判明した。本報告では、この庭園の現況と今後への提言をまとめた。

7. 欧州日本庭園ネットワーク設立と今後の動向 水真洋子 (ヴェルサイユ国立高等造園学校付属 研究所 (LAREP))

鈴木 誠 (東京農業大学グリーンアカデミー)

欧州日本庭園ネットワーク (EAJG, European Association of Japanese Gardens) は、2022年3月24日に設立準備会が開催され、同年6月1日設立総会を実施して発足した。その会場となり推進母体となったのは、フランスの歴史的日本庭園として有名な、モレヴリエ東洋公園 (Parc Oriental du Maulévrier)。この公園管理団体育理事長で前モレヴリエ市長らが企画計画して実現した。本発表は、このネットワーク設立の意義、現況と課題、そして今後の展望について日本と欧州のそれぞれの立場で考察し報告する。

公開シンポジウム 概要

テーマ

「庭と園に学ぶ～日本庭園・学のこれまでとこれから」

文化財庭園においてオリジナルの庭石を保存することは、庭園がもつ価値を守る上で欠かせません。文化財庭園のなかでも、発掘調査によって検出された庭園遺構（発掘庭園）の場合、庭石は、土中に埋まっていた環境からの急激な変化等により経年劣化が進行しやすく、庭石の保存が庭園を公開する上での課題の一つとなります。

また、庭園を公開する際に保存とともに重要となるのが、いかに公開するかです。各庭園の価値や特徴を捉え、適切な情報・環境をどのように提供するのか、調査・研究に基づく議論が必要となります。

創立から30周年を迎えた本学会では、学会員による30回連続セミナーを通じ、実践智（現場の肉声）と思考智（研究の成果）の最前線を紹介するとともに、日本庭園学のこれまでとこれからを展望してきました。本大会では、発掘庭園を通じて全国で公開されている庭園に共通する課題を明らかにし、日本庭園学の将来を見据えた議論を行います。

- 13:30～13:40 司会進行
大竹桃子 日本庭園学会会員
開会挨拶・趣旨説明
大澤伸啓 日本庭園学会会長
- 13:40～14:30 発掘庭園の特質と公開、活用
【小野正敏氏 国立歴史民俗博物館名誉教授】
- 14:30～15:20 発掘庭園の保存上の課題
【高妻洋成氏 国立文化財機構奈良文化財研究所副所長】
- 15:20～15:30 休憩
- 15:30～16:15 日本庭園学会創立30周年記念
公開オンラインセミナーに学んだこと
【藤田若菜 福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館主査・日本庭園学会理事】
- 16:15～16:55 コメント・質問
【コーディネーター：小野健吉 大阪観光大学教授・日本庭園学会副会長】
- 16:55～17:00 閉会挨拶
大澤伸啓 日本庭園学会会長

【会費納入のお願い】

学会費の納入額をご確認のうえ、納入のほどよろしくお願い申し上げます。また、過年度滞納の方は併せて納入のほどよろしくお願い申し上げます。

協力者：森本・荒川（植彌加藤造園株式会社）

日本庭園学会広報委員会

今江秀史、加藤友規、マレス・エマニュエル

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-1

京都芸術大学日本庭園研究センター 気付

日本庭園学会関西支部事務局 FAX(075)791-9342